

**授業概要**

人間関係づくりは、特別活動における主要テーマであり、教員として避けて通れないものでもある。ちなみに中学校学習指導要領に、特別活動の目標「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。」の記載がある。なおこの目標は、学級活動、生徒会活動及び学校行事の三つの内容の目標を総括する目標でもある。

授業では、特にこの点に配慮し、如何にすれば生徒の人間関係づくりに教師として貢献できるか、構成的グループエンカウンター等の体験学習を交えながら授業展開したいと考えている。

**授業計画**

第1回	ガイダンス
第2回	子どもを取り巻く現代社会の状況 その1
第3回	子どもを取り巻く現代社会の状況 その2
第4回	特別活動の目標
第5回	学級活動の意義・内容・方法
第6回	生徒会活動の意義・内容・方法
第7回	学校行事の意義・内容・方法
第8回	発達・発達課題をふまえての特別活動 その1
第9回	発達・発達課題をふまえての特別活動 その2
第10回	発達・発達課題をふまえての特別活動 その3
第11回	キャリア教育と特別活動
第12回	道徳教育と特別活動
第13回	特別活動におけるガイダンス機能
第14回	構成的グループエンカウンター その1
第15回	構成的グループエンカウンター その2
第16回	筆記試験

**到達目標**

中学校・高等学校における特別活動の意義・内容・方法を理解すると同時に、教師（リーダー）として集団を扱うことへの認識を深める。また特別活動を通して、積極的に生徒の人間関係づくりに取り組むことができるよう構成的グループエンカウンターを体験する。同時に、実践への意欲や自信を伸長する。

**履修上の注意**

受け身の姿勢ではなく、能動的に授業に参加すること。また知識を得るだけでなく、実際の体験を通して学習する態度を培うこと。依存的でなく、自律した自己形成を心掛けて欲しい。なお遅刻に関しては、列車の遅延等以外、一切認めない。

**予習復習**

授業だけが学習ではない。アルバイトやボランティア等に積極的に参加することにより、大学生時代から様々な人間関係や仕事を体験して欲しい。また現代社会が抱える問題点に関する意識を、広く育むことができるよう様々な学問領域へ関心をよせて欲しい。

**評価方法**

授業への参加意欲 50%と期末試験 50%

**テキスト**

『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 ぎょうせい  
『カウンセリングの理論』 國分康孝（著） 誠信書房